＜地域型住宅グリーン化事業に対する取組み＞ ＜様式3-1＞

グループ名称	『よこての森を育む家』普及推進協議会
R1採択グループ番号	08 － 0075 － 0080

A グループの取組みと事務局体制について

1.グループの取組み・特徴について消費者HPにて公開する内容を記載

グループのPRポイントについて 別添に記載	地域型住宅の性能について 別添に記載
地域材の活用について 別添に記載	引き渡し後の維持管理について 別添に記載

2.ホームページの有・無

ホームページの有・無	無	
アドレス		

3.グループとして消費者相談窓口の有・無

相談窓口の有・無	有		
TEL	0182-32-4706	e-mail	

4.グループの事務局の体制

□	専任担当者を配置している
□	事務局担当者が複数人いる
■	事務局担当者には常に連絡を取れる
□	外部の業者に部分的に業務委託をしている
□	外部の業者に全ての業務を委託している
□	事務局担当者が複数のグループを担当している

5.グループ内の情報共有の方法

■	グループ内でR2年度事業説明会を実施する
■	SNS等の情報共有ツールを使った情報公開・共有
■	メール・メーリングリストを使った情報発信
□	ホームページ等Webを使った情報共有・発信（会員専用ページなど）
□	TEL・FAXを使った情報共有・発信
□	その他（ ）

B グループのサポート体制について

1.長寿命型（長期優良住宅） 3

■	認定取得支援（設計・申請サポート）	■	工事支援（施工サポート）
□	住宅履歴情報作成	■	設計・施工検査、施工管理
□	営業支援（提案書作成・営業同行）	□	見積書作成支援（建材手配含む）
□	その他（ ）		

2.ゼロ・エネルギー住宅型（ゼロ・エネルギー住宅） 1

■	設計支援（設計・申請サポート）	□	工事支援（施工サポート）
□	住宅履歴情報作成	□	設計・施工検査、施工管理
□	営業支援（提案書作成・営業同行）	□	見積書作成支援（建材手配含む）
□	その他（ ）		

3.高度省エネ型（認定低炭素住宅及び性能向上計画認定住宅） 3

■	認定取得支援（設計・申請サポート）	■	工事支援（施工サポート）
□	住宅履歴情報作成	■	設計・施工検査、施工管理
□	営業支援（提案書作成・営業同行）	□	見積書作成支援（建材手配含む）
□	その他（ ）		

4.省エネ改修型 1

■	設計支援（設計・申請サポート）	□	工事支援（施工サポート）
□	住宅履歴情報作成	□	設計・施工検査、施工管理
□	営業支援（提案書作成・営業同行）	□	見積書作成支援（建材手配含む）
□	その他（ ）		

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取組み＞ ＜様式3－2＞

グループ名称	『よこての森を育む家』普及推進協議会
R1採択グループ番号	08 － 0075 － 0080

C 研修会・講習会の実施について 4

■	補助交付申請、実績報告等の補助事業に関連する説明会	(令和2年度地域型住宅グリーン化事業 説明会を実施)
■	長期優良住宅、ゼロ・エネルギー住宅等の認定・評価書取得に関する研修会	(長期優良住宅技術解説研修会を予定)
□	省エネ改修に関連した研修会	( )
□	改正省エネルギーに関連した研修会	( )
■	地域型住宅に関連した施工技術に関する研修会	(環境対策や住宅資材最新情報等の研修会を予定)
□	顧客提案等の営業手法等に関する研修会	( )
□	工務店経営に関連した研修会（人材育成・働き方改革・民法改正等）	( )
□	CCUS（建設キャリアアップシステム）に関連した研修会	( )
■	消費者向け説明会	(秋に地域型住宅の内覧会を予定)
□	事業者向け現場見学会	( )
□	その他(	)

D グループ（事務局）の未経験工務店へのサポート内容

1.グループの未経験工務店（補助実績が3棟以下の工務店）について

□	未経験工務店の所属が1／3未満	■	未経験工務店が1／3以上	□	未経験工務店は所属していない	□	わからない

2.グループ（事務局）が実施している未経験工務店に対するサポート体制について 2

■	未経験工務店への優先サポート	□	補助活用マニュアル（手順書）の用意	□	営業支援（提案書作成・営業同行）
■	認定取得サービスの活用提案	□	施工管理・施工検査のサポート	□	事務局による交付申請書類作成支援
□	事務局による実績報告書類作成支援				
□	その他(				)

E 地域型住宅の仕様・品質、生産体制に関する取組みについて

1.主要構造部（柱・梁・桁・土台）における地域材の割合の共通ルール

□	50%未満	■	50%以上	□	80%以上

2.長寿命型（長期優良住宅）の仕様・施工品質に関する取組みについて 1

□	耐震等級3	■	設計性能評価書の取得	□	建設性能評価書の取得	□	施工検査の実施
□	グループ独自の取組み （						)
□	その他(						)

3.ゼロ・エネルギー住宅型（ゼロ・エネルギー住宅）の仕様・施工品質に関する取組みについて 0

□	耐震等級3	□	設計性能評価書の取得	□	建設性能評価書の取得	□	施工検査の実施	□	長期優良住宅の認定取得
□	グループ独自の取組み （								)
□	その他(								)

4.高度省エネ型（認定低炭素住宅及び性能向上計画認定住宅）の仕様・施工品質に関する取組みについて 1

□	耐震等級3	■	設計性能評価書の取得	□	建設性能評価書の取得	□	施工検査の実施	□	長期優良住宅の認定取得
□	グループ独自の取組み （								)
□	その他(								)

5.省エネ改修型の仕様・施工品質に関する取組みについて 1

■	共通ルール （ 環境に配慮した改修に努める	)
□	その他(	)

6.優良建築物型の仕様・施工品質に関する取組みについて 0

□	取組み （	)
□	その他(	)

7.地域型住宅の生産体制に関する取組みについて 1

■	地域型住宅の施工に関する統一基準がある。（一部箇所も含む）	□	地域型住宅の積算・見積もりに関する統一したルールがある
□	指定（推奨）の建材・住宅設備機器等の活用による在庫情報の共有	□	地域型住宅としてのグループ独自の証明証の発行
□	完成保証・地盤補償等の各種保険の添付（瑕疵担保責任保険は除く）		
□	その他(		)

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取組み＞ ＜様式3－3＞

グループ名称	『よこての森を育む家』普及推進協議会
R1採択グループ番号	08 － 0075 － 0080

F 地域型住宅の維持管理に関連する取組みについて

1.住宅履歴情報の管理・活用について

□	住宅履歴情報は施主が保管管理を行う
□	住宅履歴情報は施工工務店で保管管理を行う(施工工務店任せ)
□	住宅履歴情報はグループ事務局で一括して保管管理を行う
□	グループで指定する住宅履歴情報サービス機関で保管管理する
■	その他(住宅施工会社と事務局で住宅履歴情報の管理を実施する)

2.維持管理の実施に関する取組みについて 1

■	共通の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
□	各社個別の維持管理計画書に従って維持管理・点検を行う
□	グループとして外部の機関と提携(契約)して維持管理を実施
□	維持管理の実施に関しては施工工務店任せ
□	その他( )

3.グループ事務局で維持管理の実施について

■	維持管理の実施に対してグループ事務局にて報告を受け管理する
□	維持管理の実施に関してグループ事務局では管理しない

4.所属工務店の廃業等があった際の対応について 1

□	指定ルールに基づいて積立を行い廃業があった際の検査費用として活用し維持管理を引き継ぐ工務店を紹介する
■	グループ事務局で維持管理を引き継ぐ工務店を紹介
□	グループ事務局にて維持管理を代行
□	グループ事務局として住まい手と相談し住まい手の意向に合わせる
□	第三者機関に維持管理業務を任せるため問題なし
□	グループ事務局として管理しない
□	その他( )

G 地域産業・災害等に対する対応

1.和の住まいに関連した取組みについて 5

■	和室の提案や畳の活用を義務または推奨している	(今年度の使用予定枚数(1畳換算) 1棟につき6枚以上)
■	和瓦の活用を義務または推奨している	(沿岸部に建築する場合に和瓦の使用を提案する)
■	襖や障子の活用を義務または推奨している	(今年度の使用予定枚数(3×6換算) 1棟につき2枚以上)
■	地域の伝統的な素材を活用する取組みを行っている	(切妻造・化粧梁・梁首・吹寄垂木・鎧板張等を基にした意匠を現代風にアレンジし、使用することを提案する)
■	その他(地域材である秋田スギを使用した本実加工板等内装材の使用を積極的に提案する)	

2.災害発生時の対応について

□	被災地に該当する
■	被災地に該当しない

グループ会員による独自の早期応急危険度判定を行い復旧に向けての道筋を提案する

3.災害発生時の取組み等に対しての国土交通省より情報提供の受け取りに関して

■	情報提供を受ける	□	情報提供を受けない

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取組み＞　　＜別添＞

グループ名称	『よこての森を育む家』普及推進協議会				
R1採択グループ番号	08	－	0075	－	0080

A グループの取組みと事務局体制について

1.グループの取組み・特徴について消費者HPにて公開する内容を記載（別添）

グループのPRポイントについて

「よこての森を育む家」は雪国の暮らしを快適にし、住む人が元気になれる家づくりがテーマです。地元で育った木は、その土地の気候風土に最も合う建材です。私たち『「よこての森を育む家」普及促進協議会』では、質感・風合い・強度などに優れた良質な地元産木材を使って、居心地の良い快適な住空間を作る事を目指しております。その手法は、食べ物と同じで木材も輸入に頼らず「地産地消」に努めることで、循環型で活気のある街と豊かな森を育てます。また、地元産木材を使うことで地域の山が管理され、災害に強い森林、さらに豊かな森を次世代へと繋げることができ、地元の森林と地域の匠の技を活用して「森」と「人」を元気にしたいと考えております。

地域型住宅の性能について

秋田県県南地区は省エネルギー基準地域区分3となっているが、冬の寒さを考慮し地域区分1および2を目標とした冬期も快適な住環境を提供します。積雪を考慮し、柱材に120㎜角以上の乾燥秋田スギ認証製品（横手市産材50%以上を目標）を使用します。雪下ろしや排雪等の冬期作業の負担軽減に配慮した安心安全な家（風除室の設置等）を設計し、また地域材が使用されていることが付加価値として実感でき、木肌の温もりを感じられる内装を提案します。一次消費エネルギーを抑えるための措置として住宅の基本である断熱性能を上げ、冬季は機械設備に頼らなくても暖かく、暖房ランニングコストの安い家を提供します。

地域材の活用について

主要構造材（柱・梁・桁・土台）に乾燥秋田スギ認証製品を50%以上使用します。下地材・造作材は乾燥秋田スギ認証製品を70%以上使用します。乾燥秋田スギ認証製品に関しては横手市産材50%以上を目標とする。使用木材の木拾い表、流通時納入明細、認証製品生産工場の出荷証明書を添付する。グループとして地域材の使用率の向上と有効利用そして効率化を図るために、原木供給、製材、木材流通、プレカット加工の各担当者は、住宅施工会社から提供される受注見込情報・工程表・進捗情報をもとに現場納品までの調達・生産計画を立て、生産及び在庫状況について「よこての森を育む家」普及促進協議会事務局に定期的に報告し調整する。また主要構造材、下地材、造作材、内装材の仕様規格について原木・製材・流通・設計・施工会社等での協議を行います

引き渡し後の維持管理について

長期維持保全計画に基づき、住宅施工会社と「よこての森を育む家」普及促進協議会事務局で住宅履歴情報の管理を行う。維持保全計画の所定の書式に従い2年、5年、10年の定期点検を行い、その報告書を建築主に提出する。修繕等の必要が生じた場合、無償あるいは見積書等で建築主の承諾を得て有償で修繕を行い、その内容を建築主に報告する。これらの内容を住宅履歴情報に保存する。